

「ドーンセンター」で四回上映することになりました。

十二月の上映に先だち十月二十九日試写会があり、地域、団体から四五名が鑑賞されました。渡辺武府連会長が十二月の上映を成功させるため、前売り券の普及などの協力を訴えました。

この映画は、十年の構想と製作期間を経て完成した作品で、終戦間近の1945年五月、田原和夫氏（本作品の原作者）ら「満州」新京第一中学の三年生120人がソ満国境の農場に勤労奉仕に送られ、八月敗戦直後置き去りにさ

ソ满国境 15歳の夏 12月18日(金)  
①10:30②13:30③16:00④18:45  
天満橋ドーンセンターホール7階  
前売り券 1200円 発売中

十月二九日（木）東淀川区の中国帰国者センターで「中国残留邦人等への理解を深める集い」が開催され山本副会長、石井が参加しました。辻本センター理事長の挨拶と「中国残留邦人等への支援と現状」についての講演があり、続いて残留孤児の黒川さんによる「麻山（マサン）事件」体験談がありました。

七六歳、黒川さんの日本語は自称小学一年程度とのことで通訳をつけてのお話です。一九四五年八月九日ソ連軍の参戦が始まりました。主力を南方に転戦した関東軍は日本国民を守るこ

けという悲惨な経験（麻山事件）を話されました。亡くなつたお母さんとお姉さんが覆いかぶさるように抱きしめてくれたことで「一命を取り留めました。ご自分は確認に来た日本兵が覆つていた毛布を銃剣ではがし

唐揚げ、茶煮抜き、落花生の塩煮等々すべて帰国二世三世、地域の方々の協力による手作りで味も最高です。

いま中国で流行つてゐる「広場ダンス」が披露されました

「帰国者センター」は淀川をはさんで、向こう側とこっち側という近くにあり、今後も交流と連帯を深めていかなければ、と痛感しました。

大阪府連にとつて大変に参考になり、学ぶべき点がいっぱいある催しでした。（石井）

# 中国残留邦人のつどい 開拓団「麻山事件」悲惨な体験談

大阪府連では、劇映画「望郷の鐘—満蒙開拓団の落日」にひきつづき、七〇年前の日本の中国侵略戦争の史実を描いた映画「ソ満国境十五歳の夏」を十二月十八日、

れ、進攻してきたソ連軍の激しい爆撃を受けながら、家族の待つ新京（現在の長春市）まで帰る壮絶な実体験記録の映画化です。



会員の皆様も上映運動成功へのお力添えをお願いいたします。前売り券 1,200円で販売中です、府連事務所まで連絡ください。

## 府連通信

2015年11月号  
日本中国友好協  
会大阪府連合会  
〒530-0012

大阪市北区

芝田2-3-19

東洋ビル本館207  
TEL06-6372-8131

050-3413-64

AX06-6372-8132  
郵便振替口座  
00070-5-8978

00970-5-8978  
新しいアドレス  
E-mail: info@

jcfaosaka.org  
ホームページ  
<http://jcfaosaka.org>

103期 (2015年10月～2016年3月)

# 中国語教室

会員割引(5,400円) 中途入学できます  
中国語に興味のある方を、紹介してください。  
紹介謝礼(3,000円)もあります。

個人レッスンも随時入学可能！！



販売始まる

カレンダー「中国悠久の旅」の販売が始まりました。カラーニュース

関西ブロック支部事務局長会議が十月十八日に開催され、京都、奈良、滋賀、大阪、和歌山、兵庫の十一連合会・支部から十五人が参加しました。

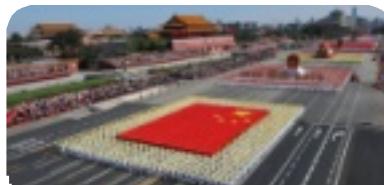
上田雅美本部常任理事の開会挨拶に続き、矢崎光晴本部事務局長が「組織拡大強化特別期間」の目的と手立て、全国の組織現状と課題、「中国脅威論」をめぐる情勢のとらえ方などを中心に報告されました。二十年余りの間に複数の連合会・支部が組織を半減させた原因が、支部の減少にあることを率直に指摘し、新たな支部づくりと支部活動を基本にする必要性を強調しました。

『村瀬守保写真展』や『望郷の鐘』の上映会、毎月の行事などで会員拡大に取り組む報告や、新しい支部作りの計画などの発言がありました。各組織とも拡大や支部作りはこれからだとそれぞれ発言があり、矢崎事務局長の討議のまとめと、渡辺武本部副会長・大阪府連会長の閉会挨拶では、ともに「この日が関西の活動を大きく変えるきっかけになるのではない」と訴えられました。

関西ブロック支部事務局長会議

## 抗日戦勝利七〇年式典に招かれる

### 新中國の建設に貢献「老戦士団」



九月一日から四日まで『人民解放軍参加老戦士団』三五名は、中国政府の招待で、中国人民抗日戦争及び反法西スト戦争勝利七〇周年記念大会に参加しました。

『八路軍及び新四軍研究会』から「皆さんは過去人民解放軍に参加して、中国革命に大

きな貢献をした、中国人民は忘

れることはない、感謝している

兵式は、規模と参加人員の多

いに驚愕した。約五万人の参

加者一万二千人、中

國の勝利は軍国主義の侵略を徹

底に粉砕し、民族の恥辱を洗い

たしました。(東大阪支部 北郷)

三日の天安門広場における開

会は、新しく広い会場で開催し、大

会場は、大阪くらしの今昔館の

会員拡大と新しい支

部作りへの参加、組織

強化の取り組みにぜひ

文化センターで、来年の干支『猿』

ご参加ください。

十二月二日(水)二時から日中

強化の取り組みにぜひ

文化センターで、来年の干支『猿』